学校番号	2003

平成 31 年度　外国語科

教科	科目	単位数	指導学年	教材名・副教材名
外国語	コミュニケーション英語Ⅱ	3	第 2 学年	CROWN English Communication Ⅱ

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

「コミュニケーション英語Ⅱ」の授業では、「読む」「書く」「聞く」「話す」の４技能をつける授業です。

「読む」・・・授業内では、400 語～700 語程度の長文の概要をすばやくつかみ、適切なタイトルを選ぶ、というタスクに取り組み、次に新出語句の導入をします。その後、もう一度長文を今度は詳細情報を意識しながら、また長文の内容の流れを記したフローチャートを完成させながら読解していきます。最後に、英語の要約を完成させます。スキミング、スキャニングを繰り返しながら「読む」力をつけていきましょう。

「書く」・・・各レッスンのパートによっては、読んだものに対する英語の要約を自分で作成したり、自分の意見を書いたりします。また、対訳シートを使って、与えられた日本語をみてチャンクごとに英語を書いていく、という課題を課すこともあります。英語を書くことに対する抵抗感を失くしていきましょう。

「聞く」・・・リスニング教材を使って、リスニングの力を高めます。また、ペアになって教科書本文に関する質疑応答をすることで、より実用的な「聞く」力を育みます。聞いて理解することを意識して取り組みましょう。

「話す」・・・きょう科書本文に関する質疑応答をペアですることで、聞かれたことに対する答えを即座に英語で話す能力を向上させます。積極的に間違いを恐れることなく、英語で話すことを楽しみましょう。

2　学習の到達目標（CAN-DO リストによる当該学年の４技能の到達目標）

【第 2 学年】履修科目：「コミュニケーション英語Ⅱ」（3 単位）及び「英語表現Ⅱ」（3 単位）

主な教材：上記科目の教科書、教科書の内容に関連した別教材

話すこと		書くこと		聞くこと		読むこと	
学習到達目標	科目･評価	学習到達目標	科目・評価	学習到達目標	科目・評価	学習到達目標	科目･評価
事実や意見などを、論理の展開や表現の方法を工夫しながら伝えることができる。与えられた話題について，即興で話すことができる。	コミュ英Ⅱ リテリング 英語表現Ⅱ スピーチコンテスト	読んだり聞いた事をまとめて、論理展開などを意識しながら簡潔に書くことができる。 自分の経験に基づき、あるテーマに沿って相手に伝わる文章を書くことができる。	コミュ英Ⅱ サマリー 定期考査 英語表現Ⅱ テーマを与えた自由英作文(週末課題)、定期考査	授業内での活動において、相手から伝えられた内容をまとめることができる 段階を追って個々のリンキングを理解することができる。まとまった内容を聞いて概要と要点を理解できる	コミュ英Ⅱ タスクシート、 英語表現Ⅱ リスニング教材､定期考査	まとまった英文の概要を確実に掴むことができる。 まとまった英文の要点をキーワードで整理できる。 ペアによる英問英答で内容を理解できる。	コミュ英Ⅱ セクションのタイトル選び QA シート 定期考査

３ 学習評価(評価の観点と実施方法)

観点	コミュニケーションへの関心・意欲・態度	外国語表現の能力	外国語理解の能力	言語や文化についての知識理解
実施方法	コミュニケーションに対する積極性を、日頃の Q&A などの活動で客観的に評価できる方法で実施。	CAN-DO リストによる「話すこと」「書くこと」の到達目標を的確に評価できる方法で実施。	CAN-DO リストによる「聞くこと」と「読むこと」の到達目標を的確に評価できる方法で実施。	英語の知識・理解を図るスピーキングテストにおいて、教材で扱った異文化・言語の背景知識を理解を問う形式で実施。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。 学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。				

4　学習の活動

単元 (配当時間)	題材内容	単元の目標	主な学習内容	単元の評価規準	評価方法
Lesson 2 (9時間)	“Into Unknown Territory” 将棋士・羽生義治さんへのインタビューを読んで、彼の考え方を学ぶ。	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		・ペアでの Q&A において積極的にやり取りができる。	・本文の内容理解を問う Q&A をペアで、英語でやり取りする。	・羽生義治さんの考え方について英語で積極的にやりとりができる。	・ペアでの言語活動を観察する。 ・ワークシートで授業への取り組みを評価する。
		「外国語表現の能力」			
		・羽生義治について本文を読み要約することができる。	・ワークシート中のフローチャートからサマリーを作成する。	・羽生義治さんの人生について、また羽生さんが夢を持つようになった経緯をリテリングすることができる。	・羽生さんのメッセージについての答えを評価する。
		「外国語理解の能力」			
		・羽生さんの若者へのメッセージを読み取ることができる。	・羽生さんの人生観を読み取る。	・羽生さんの努力を読み取ることができる。	・定期考査において内容理解を問う問題において、内容が理解できているかを判断する。
		「言語や文化についての知識・理解」			
		・基本的な文の構造、関係副詞、分詞構文を理解する。	・羽生さんについて書かれている文章を理解する。	・各文法の使い方を理解できる。	・定期考査
Lesson 3 (9時間)	“OOPARTS” 古代文明が現代に残した謎について推測しながら考察する	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		・ペアでの Q&A において積極的にやり取りができる。	・本文の内容理解を問う Q&A をペアで、英語でやり取りする。	・古代文明について英語で積極的にやりとりができる。	・ペアでの言語活動を観察する。 ・ワークシートで授業への取り組みを評価する。
		「外国語表現の能力」			
		・古代文明について本文を読み要約することができる。	・ワークシート中のフローチャートからサマリーを作成する。	・古代文明の謎について理解することができる。	・古代文明がなし得た偉業について推測を交えて発表する。
		「外国語理解の能力」			
		・歴史的背景を交えながら古代文明の価値について理解する。	・古代人が現代にもたらしている恩恵について読み取る。	・古代文明の価値について理解できる。	・定期考査において内容理解を問う問題において、内容が理解できているかを判断する。
		「言語や文化についての知識・理解」			
		・関係代名詞、助動詞の用法を理解できる。	・古代文明の価値を歴史的背景を交えながら読みとる。	・各文法の使い方を理解できる。	・定期考査

単元 (配当時間)	題材内容	単元の目標	主な学習内容	単元の評価規準	評価方法
Lesson 4 (3時間)	“Crossing the Border” 貫戸朋子さんの貧困地域における医師活動に関する体験談を読んで内容を理解する	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		・ジグソーリーディングにおいてグループ活動において積極的に参加する。	・セクション毎にキーワードを見つけ出しメモをとり、グループで発表する。	・協力してキーワードを選ぶことができる。	・グループ活動を観察する。 ・ワークシートを提出させ、教材の内容の理解度を評価する。
		「外国語表現の能力」			
		・キーワードを基に、相手に伝わる英文を話す。	・セクションの内容を口頭で要約する。グループでメモに基づいて貫戸さんの体験について書きまとめる。	・キーワードに基づき英文を相手に伝えることができる。 ・文章を読んで自分の意見を書くことができる。	・エッセイを書かせてその内容を評価する。
		「外国語理解の能力」			
		（本単元では設定しない）	・各グループに与えられた英文を読み内容を理解する。	（本単元では設定しない。）	
		「言語や文化についての知識・理解」			
		不定詞や強調構文の用法を理解できる。	・本文中の意味を理解する。	・グループ活動において、自分の考えを適切に相手に伝えることができる。	・本文を読んでエッセイを書かせ、適切に書けているか評価する。
Lesson 5 (9時間)	“Saving Cherokee” 絶滅していく言語に焦点を当て、言語の消滅が意味することを、チェロキーという言語を例として読んで理解する。	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		・ペアでのQ&Aにおいて積極的にやり取りができる。	・本文の内容理解を問うQ&Aをペアで、英語でやり取りする。	・絶滅儀愚にある言語いて英語で積極的にやりとりができる。	・ペアでの言語活動を観察する。 ・ワークシートで授業への取り組みを評価する。
		「外国語表現の能力」			
		・絶滅危惧にある言語について本文を読み要約することができる。	・ワークシート中のフローチャートからサマリーを作成する。	・チェロキー族の歴史的背景を説明することができる。	・言語の消滅が私たちに与える影響についてクラスで発表する。
		「外国語理解の能力」			
		・チェロキー語の消滅が私たちにもたらす意味を理解することができる。	・言語の消滅が私たちにもたらすことについて読み取る。	・言語の消滅が私たちにもたらすことについて読みとることができる。	・定期考査において内容理解を問う問題において、内容が理解できているかを判断する。
		「言語や文化についての知識・理解」			
		・複合関係詞、比較の用法を理解できる。	・固有の言語を残すことの大切さを読み取る。	・各文法の使い方を理解する。	・定期考査

単元 (配当時間)	題材内容	単元の目標	主な学習内容	単元の評価規準	評価方法
Lesson 6 (9時間)	“Ashura” 阿修羅に関する内容を読み、阿修羅像の作られ方、作成の背景、意味などを理解する。	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		・ペアでの Q&A において積極的にやり取りができる。	・本文の内容理解を問う Q&A をペアで、英語でやり取りする。	・阿修羅の作り方について英語で積極的にやりとりができる。	・ペアでの言語活動を観察する。 ・ワークシートで授業への取り組みを評価する。
		「外国語表現の能力」			
		・阿修羅について本文を読み要約することができる。	・ワークシート中のフローチャートからサマリーを作成する。	・阿修羅が持つ意味とは何かを説明、または本文に沿ってリテリングできる。	・仏像が日本に渡った経緯について発表することができる。
		「外国語理解の能力」			
		・日本と世界各国との関係を歴史的背景を踏まえながら読み取る。	・日本の歴史を仏教を通して読み取る。	・日本の歴史を宗教とともに理解できる。	・定期考査において内容理解を問う問題において、内容が理解できているかを判断する。
		「言語や文化についての知識・理解」			
		・不定詞や倒置の用法を正確に理解できる。	・阿修羅像について書かれている文章を理解する。	・各文法の使い方を理解する。	・定期考査
Lesson 7 (9時間)	“Why Biomimicry?” 世界が発展していくのと同時に環境が破壊されており、その解決策の一つとして挙げられている”biomimicry”についての英語を読み、内容を理解する。	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		・ペアでの Q&A において積極的にやり取りができる。	・本文の内容理解を問う Q&A をペアで、英語でやり取りする。	・biomimicry について、英語で積極的にやりとりができる。	・ペアでの言語活動を観察する。 ・ワークシートで授業への取り組みを評価する。
		「外国語表現の能力」			
		・biomimicry について本文を読み要約することができる。	・ワークシート中のフローチャートからサマリーを作成する。	・biomimicry の有効性についてグループで意見を交換することができる。	・biomimicry ついて議論し 発表する。
		「外国語理解の能力」			
		・環境破壊の原因として考えられるものを読み取る。	・biomimicry 以外に考えうる環境問題に対する解決策を読み取る。	・Benyus の活動、考え方について読み取る。	・定期考査において内容理解を問う問題において、内容が理解できているかを判断する。
		「言語や文化についての知識・理解」			
		・様々な形の仮定法について正確に理解する。	・現代の発展の仕方について読みとる。	・各文法の使い方を理解する。	・定期考査

単元 (配当時間)	題材内容	単元の目標	主な学習内容	単元の評価規準	評価方法
Lesson 8 (3 時間)	“Working against the Clock” 未だ埋められたままの地雷を除去するために、ロボットを開発している日本人についての英語を読み、内容を理解する。	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		・ジグソーリーディングにおいてグループ活動において積極的に参加する。	・セクション毎にキーワードを見つけ出しメモをとり、グループで発表する。	・協力してキーワードを選ぶことができる。	・グループ活動を観察する。 ・ワークシートを提出させ、教材の内容の理解度を評価する。
		「外国語表現の能力」			
		・キーワードを基に、相手に伝わる英文を話す。	・セクションの内容を口頭で要約する。グループでメモに基づいて地雷除去の方法について書きまとめる。	・キーワードに基づき英文を相手に伝えることができる。 ・文章を読んで自分の意見を書くことができる。	・エッセイを書かせてその内容を評価する。
		「外国語理解の能力」			
		（本単元では設定しない）	・各グループに与えられた英文を読み内容を理解する。	（本単元では設定しない。）	
		「言語や文化についての知識・理解」			
		・未だ存在する戦争の爪跡について理解する。 ・完了形分詞構文、受身の進行形についての用法を理解する。	・本文中の意味を理解する。	・グループ活動において、自分の考えを適切に相手に伝えることができる。	・本文を読んでエッセイを書かせ、適切に書けているか評価する。
Lesson 9 (9 時間)	“The Long Voyage Home” Hayabusa Project の内容、成し遂げた偉業などを読んで、理解する。	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		・ペアでの Q&A において積極的にやり取りができる。	・本文の内容理解を問う Q&A をペアで、英語でやり取りする。	・Hayabusa について英語で積極的にやりとりができる。	・ペアでの言語活動を観察する。 ・ワークシートで授業への取り組みを評価する。
		「外国語表現の能力」			
		・ Hayabusa について本文を読み要約することができる。	・ワークシート中のフローチャートからサマリーを作成する。	・ Hayabusa とは何か、ということについて説明することができる。	・ Hayabusa が与える影響について、クラスで発表する。
		「外国語理解の能力」			
		・ Hayabusa とは何かを読み取る。	・ Hayabusa Project の意味を理解する。	・ Hayabusa の意義ついて理解する。	・定期考査において内容理解を問う問題において、内容が理解できているかを判断する。
		「言語や文化についての知識・理解」			
		・独立分詞構文、未来の時制の使い方について用法を理解する。。	・ Hayabusa について読み取る。	・各文法の使い方を理解する。	・定期考査

単元 (配当時間)	題材内容	単元の目標			
Lesson 10 (3時間)	“Grandfather’s Letters” Kaka と Teddy の関係を通して、手書きの手紙の大切さを学び理解すると同時に、家族の絆を感じ取る。	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		・ジグソーリーディングにおいてグループ活動において積極的に参加する。	・セクション毎にキーワードを見つけ出しメモをとり、グループで発表する。	・協力してキーワードを選ぶことができる。	・ジグソーリーディングにおいてグループ活動において積極的に参加する。
		「外国語表現の能力」			
		・キーワードを基に、相手に伝わる英文を話す。	・セクションの内容を口頭で要約する。グループでメモに基づいて Kaka に起こった出来事の順番を書きまとめる。	・キーワードに基づき英文を相手に伝えることができる。 ・文章を読んで自分の意見を書くことができる。	・キーワードを基に、相手に伝わる英文を話す。
		「外国語理解の能力」			
		（本単元では設定しない）	・各グループに与えられた英文を読み内容を理解する。	（本単元では設定しない。）	（本単元では設定しない）
		「言語や文化についての知識・理解」			
		・技術の進歩により便利になったことが多い中で、忘れ去られている手書きの手紙の大切さについて考える。 ・不定詞、動名詞の受身形の用法を理解する。	・本文中の意味を理解する。	・グループ活動において、自分の考えを適切に相手に伝えることができる。	・家族の絆、人とのかかわり方について自身の意見を持つ。 ・